

山倉・大角住民自治協議会だより

第20号

令和4年8月25日発行
広報紙等発行実行委員会



令和4年度 定期総会

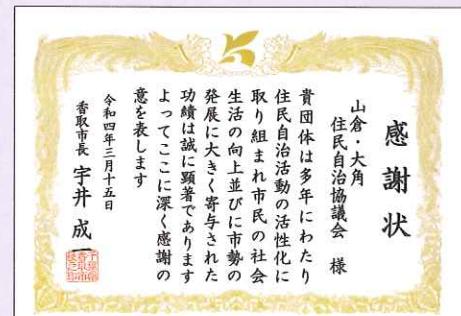
4月7日（木）旧山倉小学校体育館において定期総会が開催され、新役員及び前年度の事業報告・決算、今年度の事業計画・予算が承認されました。

令和4年度事業と予算

◆出前映画事業	120,000円
◆伝統行事等振興事業	160,000円
◆郷土の史跡保全事業	20,000円
◆山倉・大角っ子応援団事業	130,000円
◆広報紙の発行	161,000円
◆山倉・大角春まつり	304,000円
◆山倉・大角みんなの家	82,000円
◆地域まちづくり計画推進調整事業	58,000円

高橋会長からは、『前年度はコロナ禍のため事業が縮小や中止に追い込まれてしまった。今年度も未だ収束しないため、皆さまの安心・安全を第一に考え事業を進めて参ります。』と挨拶がありました。

また、当協議会が長年の活動を認められ、香取市から感謝状が贈呈された旨報告がありました。



ふるさと
再発見

あれは何？

大角のあぜ道

(第19号のつづき)



今年も、大角の田んぼの用水路沿いに、色とりどりの紫陽花が咲きました。秋には、毎年稻が刈り取られた田んぼを囲むように、彼岸花が咲きます。

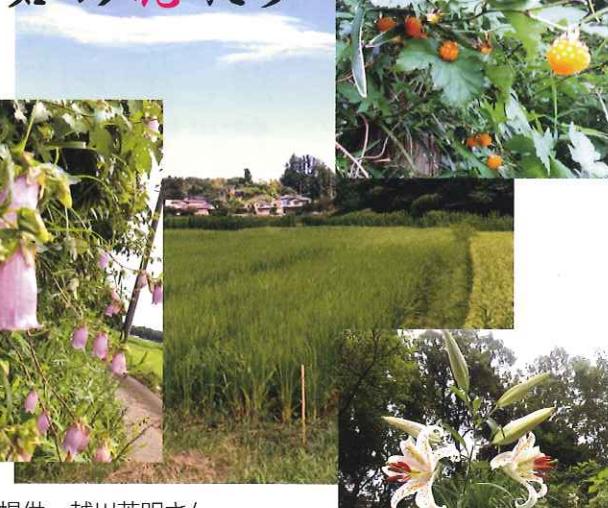
紫陽花は24年前から挿し木で育てたポット苗を植え、彼岸花は18年前に球根を譲ってもらったのが始まりで、秋の彼岸頃に美しく咲く田んぼの風景を思い描きながら、毎年少しづつ増やしていました。

生業が忙しいのに「何でこんな事をやってんだ？」と思うことが何度もありますが、好きな花の手入れは苦労が多い分喜びも多いです。何事も諦めないでプラス思考で健康に気をつけながら、これからも頑張っていきたいと思います。

と、林 浩さんが語って下さいました。



山倉の花散歩



写真提供 越川芳明さん

一日10,000歩を目標に、コースを変えながらスマホ片手にウォーキング。何気ない景色に、季節の移ろいを知らせる花々・見上げた空と雲の一瞬のバランス・田圃を渡る風を感じながら、写真を撮る。

大角地先に10万球のチューリップ畑が

4月上旬道路脇に『チューリップ満開』のかわいい看板を目にして行ってみました。そこは大角地先にあるアタリヤ農園さんの農場でした。色とりどりのチューリップが綺麗な模様となって咲いており、大勢の人たちで賑わっていました。

こんなにたくさんの花を一斉に咲かせるには大変なご苦労があった事と思い、後日担当の方にお話を伺いました。

(株)アタリヤ農園は今年8月に創業100周年を迎えることにあたり、これを記念して社員やパートさんみんなで何か形に残したいとの思いから、農場にチューリップの球根を植え付ける事にしました。昨年12月に約35m四方の場所へ約10万球の球根を密植し、また隣接する場所には約120種類の球根を品種ごとに植え付けました。植え付け作業は大変でしたが、皆の協力のおかげで4月に満開のチューリップが楽しめました。

つぼみが付き始める頃、ぜひ地域の方々にも見てもらいたいとの思いから、案内ポスターを掲示しました。開花が始まるころから徐々に来場者も増え、更に口伝えに広がり、子供さんからご高齢の方まで多くの方々に感動の声をいただきました。地域の方々にも喜んで頂けたことで、私たちの『やりがい』も更に満足させていただきました。

たくさんの方々に見に来ていただきましたことに心より感謝申し上げます。

祭りやイベントの中止、旅行等に出かけることもままならない中、近場でこんなに壮大できれいなチューリップ畑に癒され、モヤモヤ気分が晴れた方も多いのではないでしょうか？



チューリップの植え付け方と管理

チューリップを植えてみよう!

花壇植えの場合、水はけと日当たりの良い場所の土を耕し、球根を植え付けています。水やりは土の表面が乾いたら、たっぷり与えましょう。



10~12月
紅葉の見頃時期がベスト

翌4月頃



開花後はどうしたらいい?

①花摘み作業

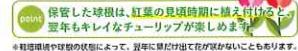
花びらが散る前に、花の付け根部分を手で折り、摘み取ります。摘み取った花は放置せずに処理しましょう。その後、葉と茎が枯れるまで水やりを続け光合成をさせることで、球根に養分が蓄えられて大きく育ちます。



花摘み後の肥料は不要!

②掘り上げ・保管

5~6月頃になり葉が黄緑色く枯れたら、球根を掘り上げます。土がついているなら手軍手や布等で軽く拭き取り、ネットに入れて風通しの良い日陰で保管します。



秋に赤く染まる



コキアが
楽しみ!!



7月10日、山倉環境資源保全会の皆さんと、コキア苗をプランターに植え、郵便局前道路沿いに配置しました。

(株)アタリヤ農園提供

6月27日、関東甲信越過去最短で「梅雨明け」。発表が出る数日前より、30℃越えの猛暑と強い日差し。「電力需要逼迫注意報」耳新しい注意報も発令されている。6月なのに・・・

コロナ感染、ロシアのウクライナ侵攻等、暗いニュースが多い中、せめて地域広報だけは、明るくと『花尽くし』。一時でも目と心を休めて頂ければと思います？

厳しい暑さを乗り越え、実りの秋が豊作であり、過ごしやすい日々となりますよう。

皆さんも、自慢の庭や花・お勧めの散歩道等々、広報への投稿を待っています。

広報紙等発行実行委員会 奈良美智子 奈良律子 穴澤洋子 佐藤恭子